

～ 自由にイメージし、納得するまで作れる時間 ～

たくさんの紙皿や紙コップ、廃材を置き、穴あけパンチやボンドも出しました。正解は無く、ただ切って貼る提案から始めました。

子ども達は最初、切る、貼る、穴を開けるなどを試し、そのうちに自分の興味のまま作り始めました。

具体的な何かイメージして作る人、切って貼っていくうちにイメージが湧いてくる人、それぞれです。

ナニモノでもないものを作り、完成は本人が決めています。いつの間にか、どの子も自分の手元に集中していました。

接着したいけれど、どうしたらいいか、
上手いかわからないけれど、どうしたらいいか、
どこに何を使えばいいか、試行錯誤しながら気付いていきます。
新しい道具も体験するうちに、コツをつかんでいきます。

作る物（正解）を求められていない、場所も自由に移動できる、
素材や道具を自由に使える環境で
自分で考え、決めて、自分なりの答えを出して創造していました。

自分がイメージしたものを、自分が納得するまで作れる。
それは楽しい事だろと思います。
何か解らないものも、本人には価値があり、評価が生まれません。
作った物を見せてくれる表情は、満足気で自信に満ちていました。

大人の評価が1番ではなく、自分の感覚が1番、と思える時間が
創造力や想像力を育て、評価ではない自己肯定感を生む。
それが、自分らしい未来を作っていく力、の根っこになるはずです。

